

2005年 3月 3日

三菱商事株式会社  
丸紅株式会社  
株式会社みずほコーポレート銀行

## 三菱商事・丸紅 ブラジルで石油資源プロジェクト

三菱商事株式会社（本社：東京都千代田区、社長：小島順彦）と丸紅株式会社（本社：東京都千代田区、社長：勝俣宣夫）は、ブラジル沖合で産出される原油を陸上の製油所に搬送するプロジェクトを行なう新会社「PDET オフショア S.A.」を共同で設立し、この度、事業の所要資金約9億米ドルについて、国際協力銀行、並びに株式会社みずほコーポレート銀行（本社：東京都千代田区、頭取：齋藤宏）の他、欧米銀行を含む全12行からなる民間銀行団と融資契約に調印しました。

本プロジェクトは、ブラジル国営石油会社(ペトロプラス)が推進するブラジル沖合油田開発の一環として計画されてきたもので、新会社は、洋上に建設される原油積出基地を調達・所有し、日量最大63万バレルの原油をシャトルタンカーで陸上に搬送します。本プロジェクトの推進により、原油の搬送を効率的に行なうことが出来ると共に、原油流出等のリスクを抑制できる為、環境上の効果も期待されます。

尚、本プロジェクトでは、ペトロプラスがオペレーターを担い、日揮が原油積出基地を建設するプロジェクトマネジメントを行うことになっています。

総額約9億ドルとなる今回の大型協調融資では、新会社の株主となる三菱商事と丸紅が約1億ドルの融資を供与、国際協力銀行が本邦企業の海外事業支援として約5億ドルの融資を供与し、みずほコーポレート銀行が民間銀行融資約3億ドルの取り纏めを担います。又、民間銀行融資部分には独立行政法人日本貿易保険がリスク保険を付保するなど、日本の公的機関と民間が相互協力しています。

本プロジェクトは、本邦商社が主導的役割を担う大型事業であり、ブラジルに対する日本からの今後の投資促進及び両国の関係強化の呼び水となることを目指しています。

以上

## プロジェクト概要

ブラジルカンボス油田における原油搬送設備建設

プロジェクトコスト： 約9億米ドル

(プラットフォーム、洋上パイプ、海底パイプライン等)

原油搬送能力 : 日量63万バレル

操業開始 : 2006年12月

操業者 : ブラジル国有石油会社(ペトロプラス)

## 新会社の概要

名称 : PDET オフショア S.A.

株主 : 三菱商事株式会社(60%)、丸紅株式会社(40%)

資本金 : 約3百万円

所在地 : リオ・デ・ジャネイロ (ブラジル)

## 融資契約概要

融資総額 : 約9億米ドル

参加金融機関 : 国際協力銀行

民間銀行団(日本貿易保険 海外事業資金貸付保険付保)

みずほコーポレート銀行、ABN アムロ銀行、ドイツ銀行、

シティバンク、UFJ 銀行、香港上海銀行、ヒポフェラインス銀行、

サンパウロ州立銀行、ANZ 銀行、West LB 銀行、Calyon 銀行、

住友信託銀行

以上